区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	公衆衛生学実習（公衆衛生学）	単位数	1単位
対象学年	3年	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	管原　正志	実務経験	有・(無)	実務経験内容	

授業の目的・目標
これまで修得した公衆衛生学の各単元について、説明と論理的に述べることができると共に、国家試験に向けての対策を行う。

成績評価の方法
単位認定試験

授業の概要・授業方針
予防医学の知識、環境保全に必要な処理・対策の基礎的な知識、労働衛生・衛生管理の基礎的な知識、少子高齢化社会での保健医療、社会福祉・社会保障の制度について概説する。
講義と演習を中心として、必要に応じて視聴覚教材（ICT活用等）を使用する。

テキスト・参考資料等
「最新臨床検査講座、公衆衛生学」照屋浩司・川村堅著、医歯薬出版

授業計画	講師
第1回：予防医学、疫学、人口静態統計、問題演習	管原正志
第2回：感染症、問題演習	管原正志
第3回：母子保健、学校保健、老人保健、精神保健、問題演習	管原正志
第4回：生活環境、問題演習	管原正志
第5回：栄養と食中毒、問題演習	管原正志
第6回：公害、問題演習	管原正志
第7回：産業衛生、問題演習	管原正志
第8回：人口動態統計、社会保障、問題演習	管原正志
注：受講に関して、時間毎の予習・復習を習慣化すること。	